

伊藤忠エネクス株式会社

(東証プライム 証券コード：8133)

2025年3月期第2四半期 (中間期) 決算補足説明資料

2024年10月31日

ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り及び当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることあり得ます。したがって、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。
- 本資料では、下記のとおり表記を置き換えております。

「営業活動に係る利益」	⇒ 「営業利益」
「当社株主に帰属する中間純利益」	⇒ 「中間純利益」

業績ハイライト

2025年3月期第2四半期（中間期） 決算概要

- 「**中間純利益**」は**78億円**となり、**通期計画に対する進捗率は58%**と順調。
- ホームライフ事業及び電力・ユーティリティ事業等の採算が改善。
一方、前年同期の固定資産売却益の反動により減益。

売上収益

4,372億円 (前年同期比△4.0%)

営業利益

127億円 (前年同期比△20.2%)

売上
総利益

457億円 (前年同期比+6.4%)

中間
純利益

78億円 (前年同期比△12.1%)



目次

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要

- ① 全社概要
- ② セグメント別概要

2. 中期経営計画の進捗状況

- ① 概要・全社取り組み状況
- ② 各部門の進捗状況

◇ Appendix

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要

① 全社概要

2025年3月期第2四半期（中間期）決算/サマリー

(億円)	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減
売上収益	4,556	4,372	△184
売上総利益	429	457	+28
販管費	▲339	▲341	△2
固定資産損益	65	▲2	△67
営業利益	159	127	△32
持分法による投資損益	2	11	+10
中間純利益	89	78	△11
売上総利益に対する販管費率	79.0%	74.6%	△4.4 pt

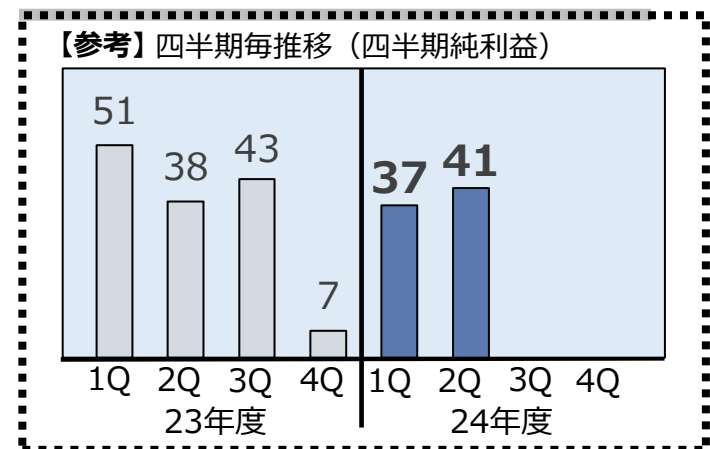
24年度 通期計画	進捗率
--------------	-----

215	59%
-----	-----

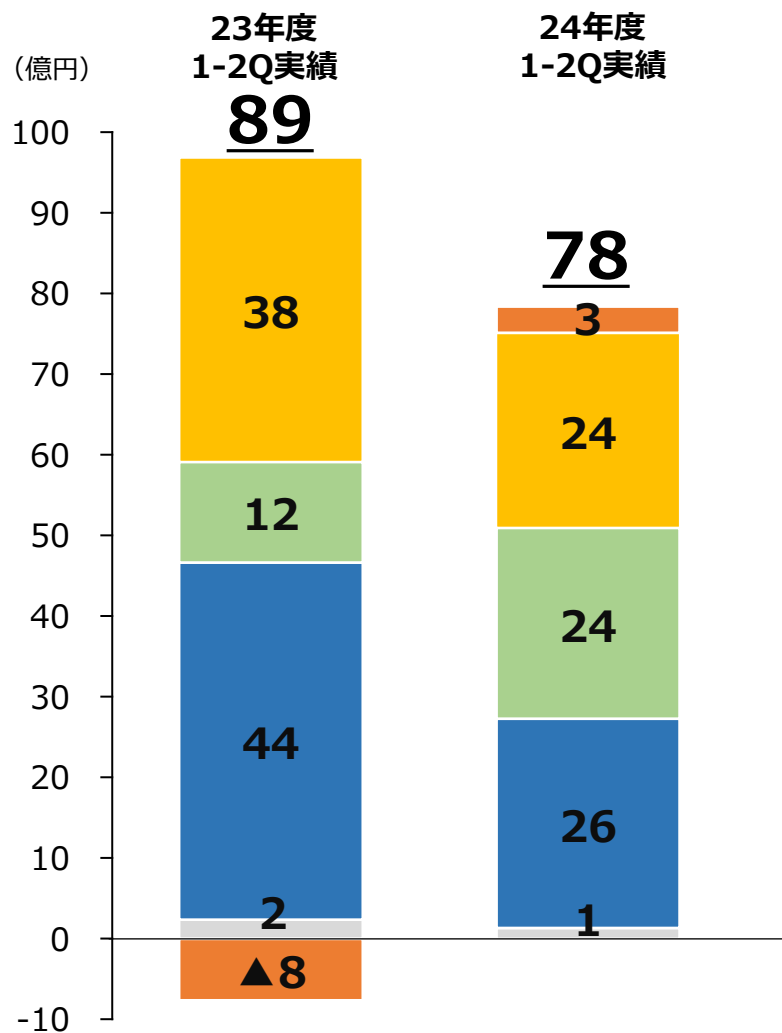
135	58%
-----	-----

	23年度 実績	24年度 実績	増減
中間配当 (円/株)	26	28	+2

- 「中間純利益」は78億円となり、進捗率は58%と順調。
- ホームライフ事業及び電力・ユーティリティ事業等の採算が改善。
一方、前年同期の固定資産売却益の反動により減益。
- 中間配当は実績から2円増配の28円/株。（期末配当予想：28円、年間配当予想56円）



セグメント別 中間純利益



主たる増減要因

■ ホームライフ(前年同期差：+11億円、計画進捗率：12%)

前年同期における在庫単価変動の利幅へのマイナス影響の反動により増益

■ カーライフ(前年同期差：△14億円、計画進捗率：56%)

中古車販売が貢献するも、前年同期のCS(※)跡地売却益の反動により減益

■ 産業ビジネス(前年同期差：+11億円、計画進捗率：59%)

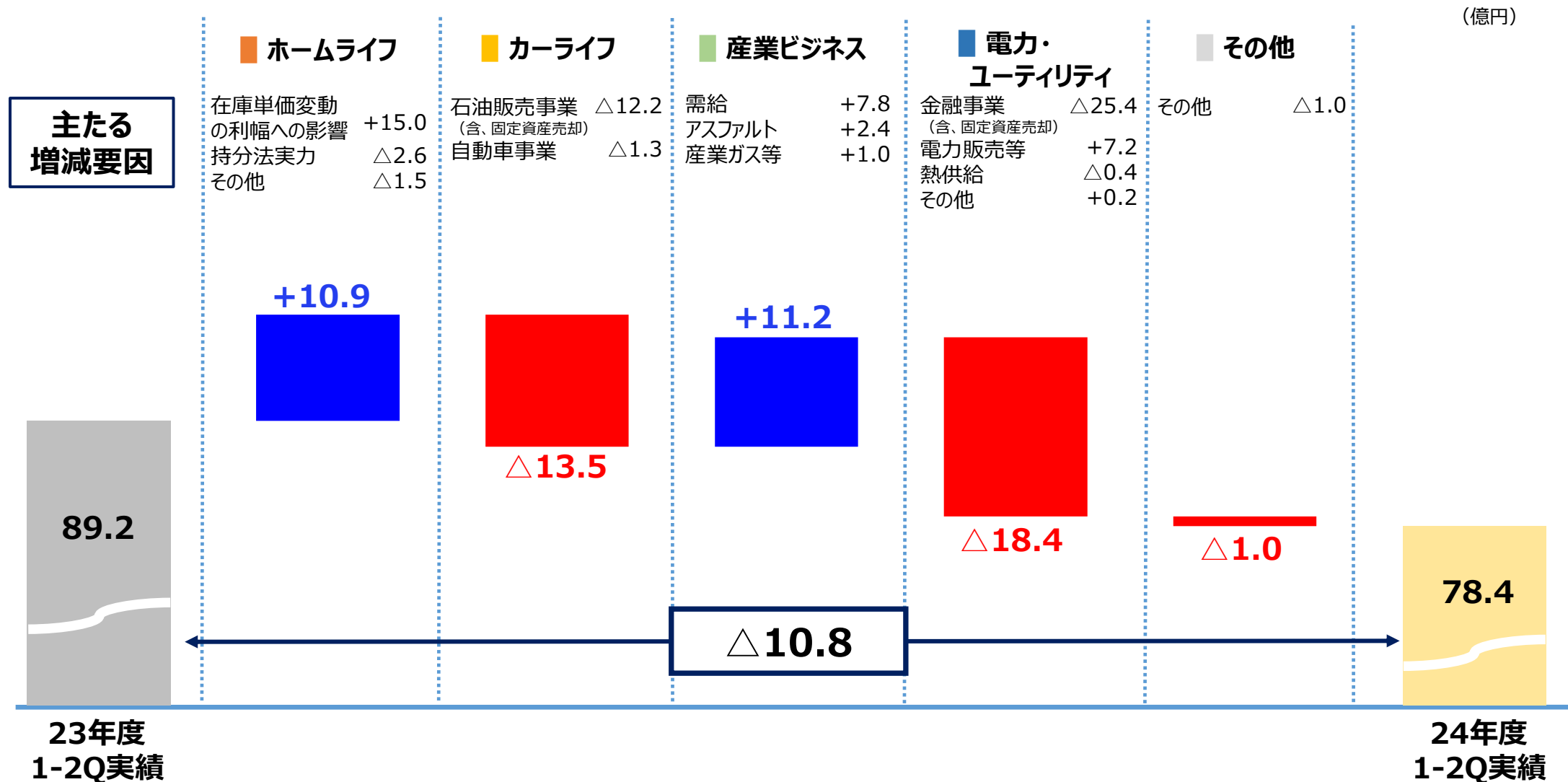
需給オペレーション、アスファルト及び産業ガス販売事業等の好調により増益

■ 電力・ユーティリティ(前年同期差：△18億円、計画進捗率：79%)

電力市況安定による採算改善も、前年同期のメガソーラー売却益の反動により減益

(※) CSとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所

セグメント別 中間純利益分析

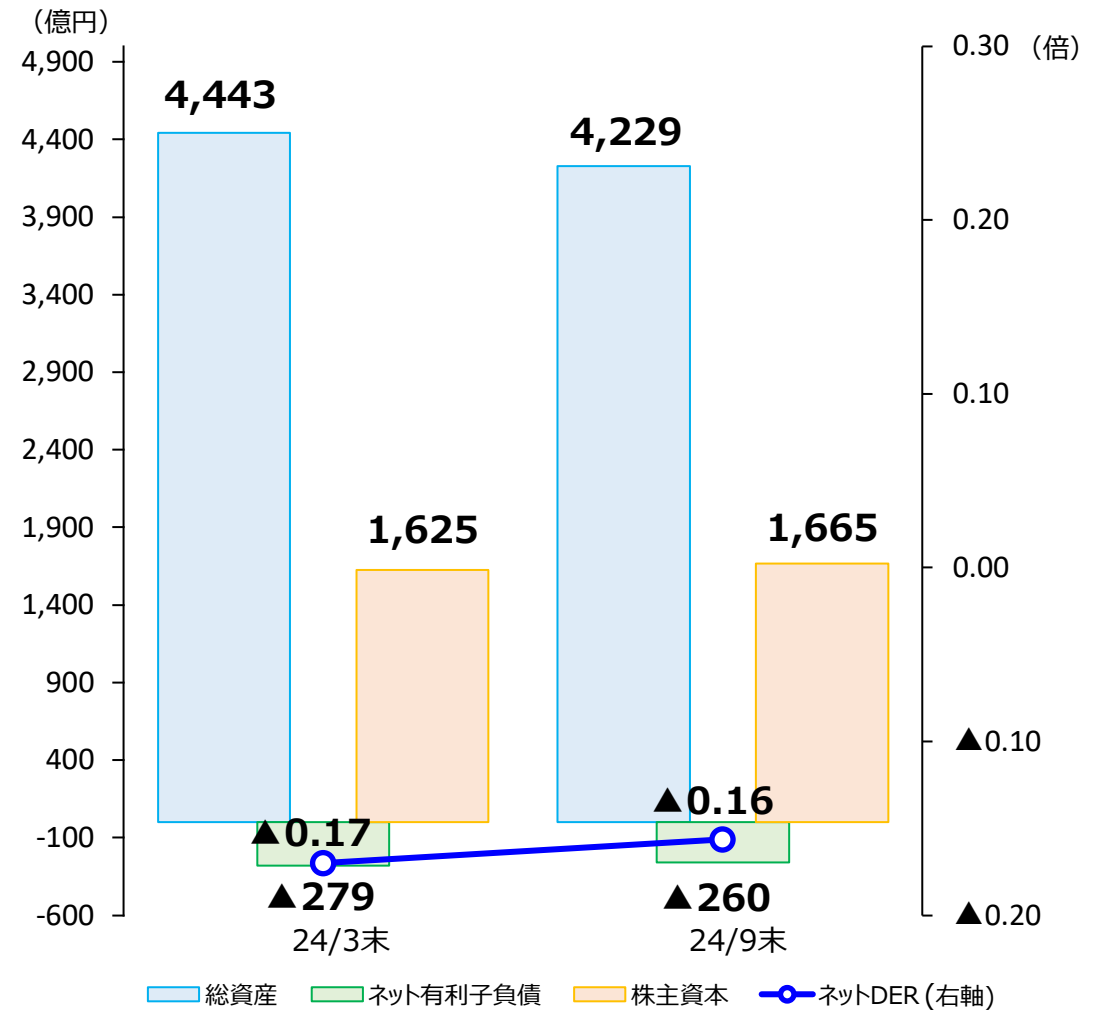


財政状態

季節要因による営業債権減少で総資産減少

- **総資産** : 季節要因による営業債権減少で前期末比**214億円**減少し、**4,229億円**。
- **株主資本** : 当期純利益の積上げ等により、前期末比**40億円**増加し、**1,665億円**。
- **PBR** : 前期末比**0.03pt**低下し、**1.06倍**。

(億円)	24年3月末 実績	24年9月末 実績	増減
総資産	4,443	4,229	△ 214
ネット有利子負債	▲279	▲ 260	+ 19
株主資本	1,625	1,665	+ 40
株主資本比率	36.6%	39.4%	+ 2.8 pt
ネットDER	▲0.17倍	▲ 0.16倍	+ 0.01 pt
PBR	1.09倍	1.06倍	△ 0.03 pt



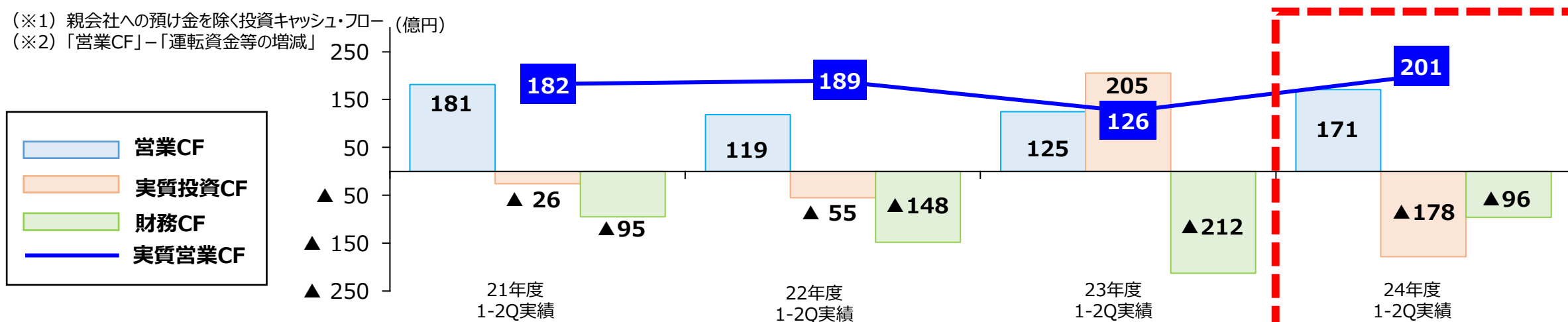
キャッシュ・フロー

WECARS出資により投資増加、実質営業CFは順調に創出

キャッシュ・フロー (億円)	21年度 1-2Q実績	22年度 1-2Q実績	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	181	119	125	171
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲26	▲55	5	▲78
親会社への預け金	-	-	▲200	100
実質投資キャッシュ・フロー※1	▲26	▲55	205	▲178
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲95	▲148	▲212	▲96

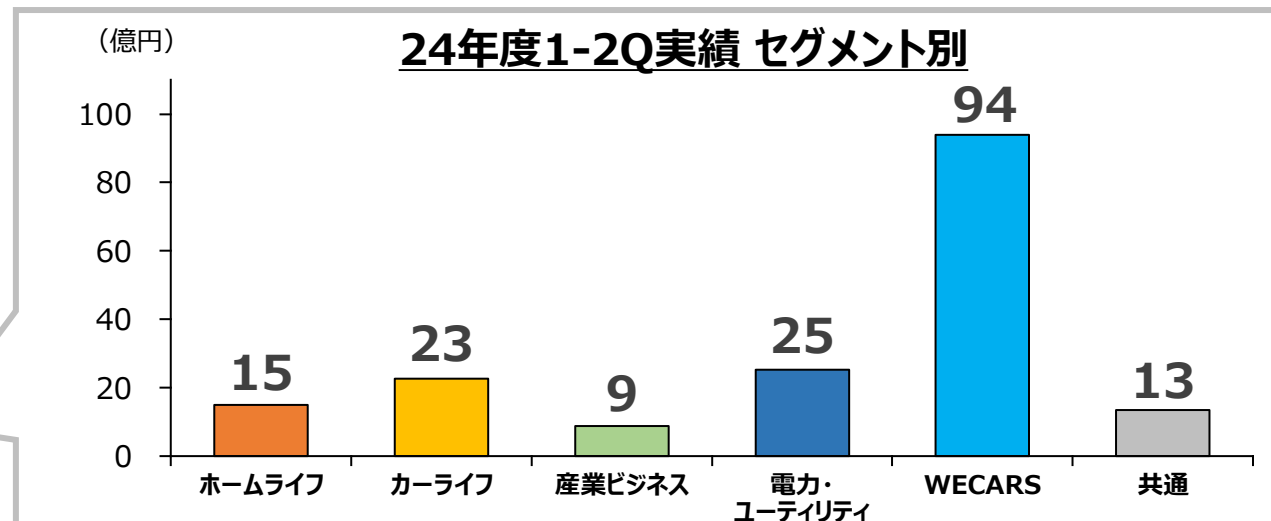
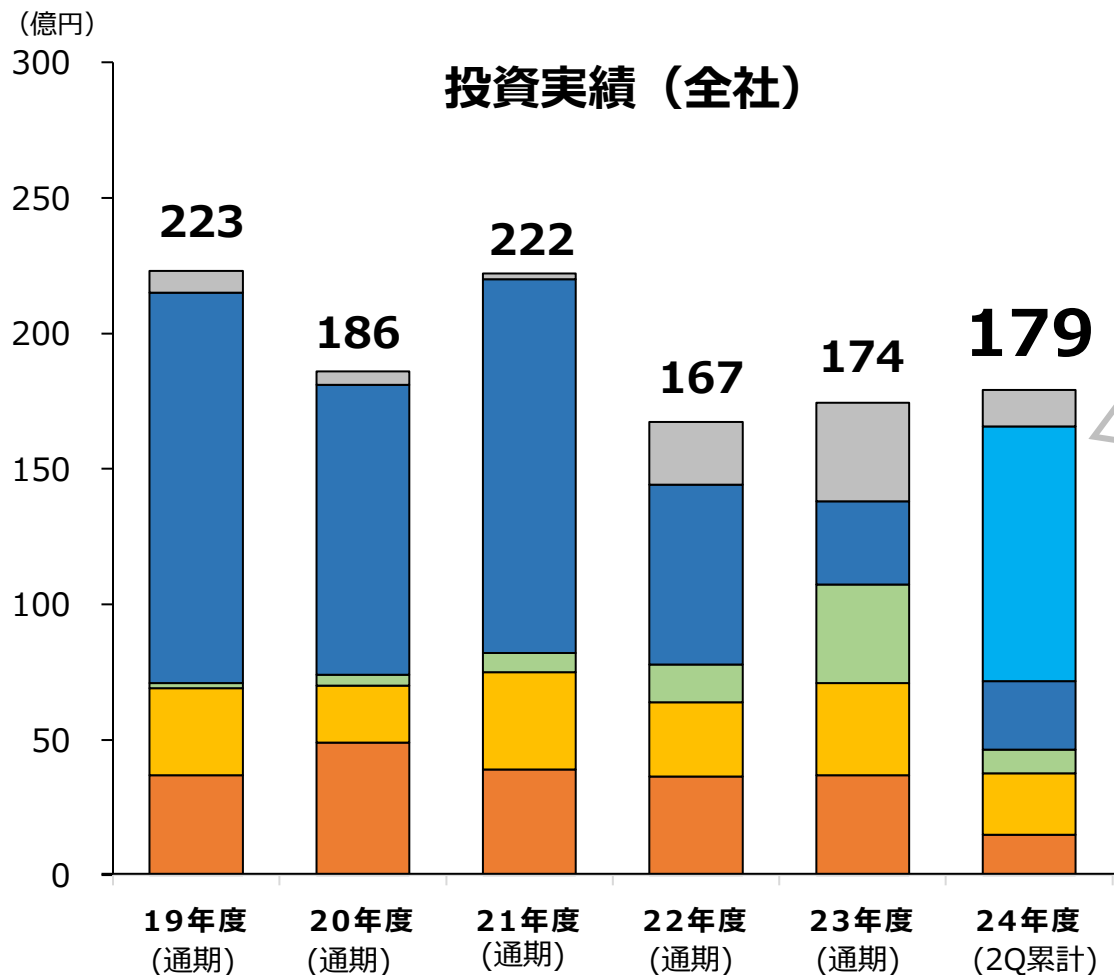
実質営業キャッシュ・フロー (※2)	182	189	126	201
---------------------------	------------	------------	------------	------------

(※1) 親会社への預け金を除く投資キャッシュ・フロー (億円)
 (※2) 「営業CF」-「運転資金等の増減」



投資の推移

新会社WECARS等への新規戦略投資実行



主な新規・戦略投資実績

ホームライフ	ガス営業権買収、LPWA投資 (※) 等
カーライフ	受発注システム開発 等
産業ビジネス	苛性ソーダタンク新設、産業ガス関連設備新設 等
電力・ユーティリティ	LNG火力発電増設、太陽光発電投資 等
WECARS	新会社WECARSへの資金拠出
共通	DX投資 等

(※) Low Power Wide Areaの略称であり、消費電力を抑えて遠距離通信を実現する通信方式

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）決算概要

② セグメント別概要

セグメント別業績

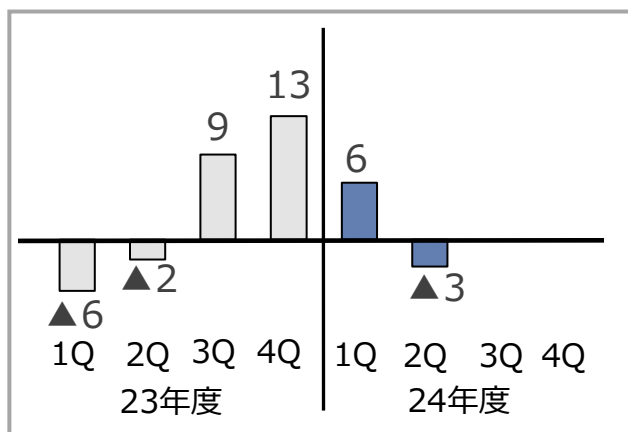
(億円)		23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減	増減率 %	24年度 通期計画	進捗率
■ 全社	売上収益	4,556	4,372	△184	△4.0%	—	—
	営業利益	159	127	△32	△20.2%	215	59%
	中間純利益	89	78	△11	△12.1%	135	58%
■ ホームライフ	売上収益	284	302	+18	+6.4%	—	—
	営業利益	▲4	▲0	+4	↑	—	—
	中間純利益	▲8	3	+11	↑	26	12%
■ カーライフ	売上収益	2,984	2,986	+2	+0.1%	—	—
	営業利益	70	48	△22	△31.1%	—	—
	中間純利益	38	24	△14	△35.8%	43	56%
■ 産業ビジネス	売上収益	676	683	+7	+1.0%	—	—
	営業利益	15	31	+17	+113.4%	—	—
	中間純利益	12	24	+11	+90.3%	40	59%
■ 電力・ ユーティリティ	売上収益	613	401	△212	△34.5%	—	—
	営業利益	74	42	△32	△43.3%	—	—
	中間純利益	44	26	△18	△41.5%	33	79%

ホームライフ部門

前年同期における在庫単価変動の利幅へのマイナス影響の反動により増益

	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減	主たる増減要因 (中間純利益)	24年度 計画	進捗率
売上総利益	73	78	+5	直売顧客軒数は、約571千軒と前期末から約3千軒の減少。LPガス販売数量は節約志向の高まり等が影響し、前年同期を若干下回る。 損益面は、前年同期における在庫単価変動の利幅へのマイナス影響の反動により増益。	26	12%
販管費	▲79	▲79	△0			
営業利益	▲4	▲0	+4			
持分法損益	▲4	6	+10			
中間純利益	▲8	3	+11			

四半期毎推移 (四半期純利益)



主な関係会社損益	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減
伊藤忠エネクス ホームライフ西日本	1	1	+0
エコア (当社持分51%)	1	2	+1
エネアーク (当社持分50%)	▲0	2	+3

顧客軒数(千軒)	24年 3月末	24年 9月末	増減
LPガス直売軒数	574	571	△3

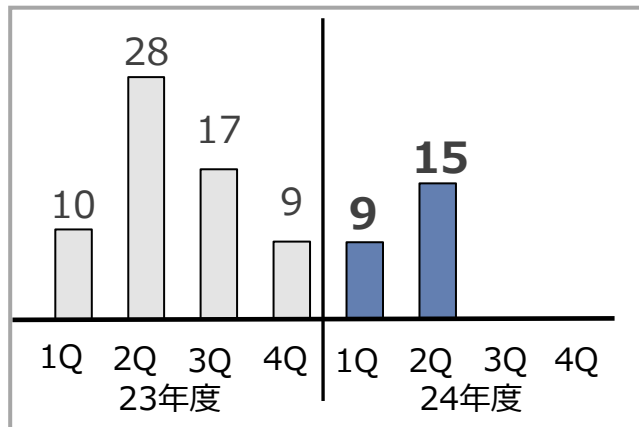
販売数量	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減比
LPガス(千トン)	182	180	△1%

カーライフ部門

中古車販売が貢献するも、前年同期におけるCS跡地売却益の反動により減益

	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減	主たる増減要因 (中間純利益)	(億円)	
					24年度 計画	進捗率
売上総利益	255	250	△5	CS数は前期末より15カ所減の1,551カ所。石油製品の販売数量は前年同期並み。自動車販売台数は、中古車販売が好調に推移し、全体の販売台数は前年同期を上回る。損益面は、中古車販売台数の増加及び利幅上昇があったものの、前年同期のCS跡地売却益の反動により減益。	43	56%
販管費	▲202	▲ 205	△4			
固定資産損益	15	▲ 0	△15			
営業利益	70	48	△22			
中間純利益	38	24	△14			

四半期毎推移（四半期純利益）



主な関係会社損益

	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減
エネクスフリート	12	12	+0
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	9	8	△1

販売数量

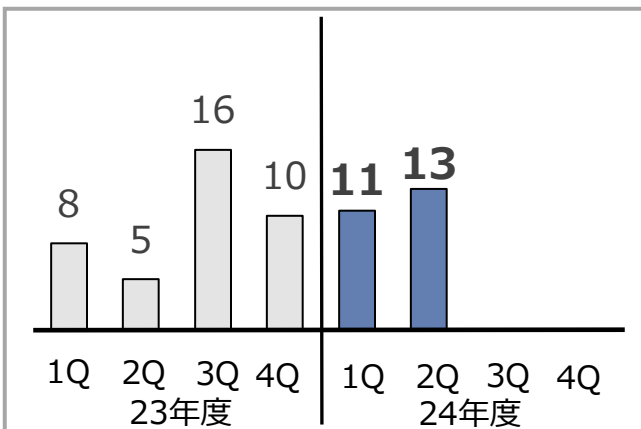
	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減比
ガソリン(千KL)	1,087	1,088	+0%
軽油(千KL)	1,379	1,379	+0%
新車(千台)	13	13	+2%
中古車(千台)	9	10	+15%

産業ビジネス部門

需給オペレーション、アスファルト及び産業ガス販売事業等の好調により増益

	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減	主たる増減要因 (中間純利益)	24年度 計画	進捗率
売上総利益	47	64	+16	船舶燃料事業は外航船向け取引の一部縮小により販売数量は前年同期を下回る。アスファルト販売事業は新たな商権獲得等により販売数量は前年同期を上回る。損益面は、需給オペレーション、アスファルト及び産業ガス販売事業等の各事業が好調に推移したことにより増益。	40	59%
販管費	▲31	▲31	△0			
営業利益	15	31	+17			
中間純利益	12	24	+11			

四半期毎推移（四半期純利益）



主な関係会社損益	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減
伊藤忠工業ガス	2	4	+1

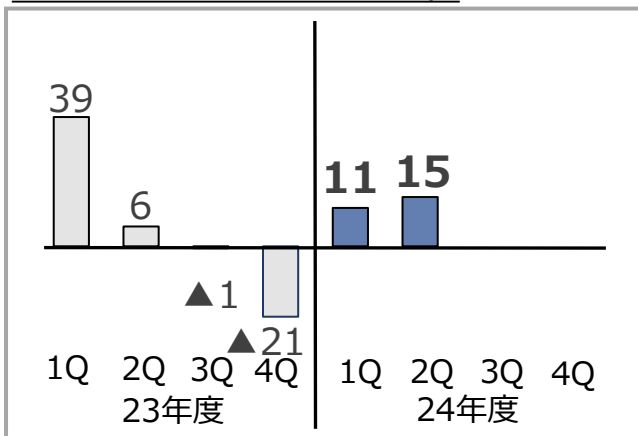
販売数量	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減比
重油(千KL)	505	452	△11%
アスファルト(千t)	124	130	+5%
産業用ガス(千t)	32	33	+1%

電力・ユーティリティ部門

前年同期におけるメガソーラー売却益の反動により減益

	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減	主たる増減要因 (中間純利益)	24年度 計画	進捗率
売上総利益	54	66	+11		電力小売事業の販売数量は、低圧は前年同期間における西日本を中心とした平均気温が上昇したことが影響し、前年同期を上回る。高圧も新規契約の獲得が順調に進んだことにより前年同期を上回る。熱供給事業は、販売熱量は前年同期並み。 損益面は、電力市況安定により採算が改善するも、前年同期のメガソーラー売却益の反動により減益。	
販管費	▲32	▲31	+1			
固定資産損益	50	▲1	△51			
営業利益	74	42	△32			
中間純利益	44	26	△18			33

四半期毎推移 (四半期純利益)



主な関係会社損益

	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減
エネクス電力グループ	4	6	+2
エネクスライフサービス	2	5	+2
東京都市サービス (当社持分66.6%)	8	7	△0
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	1	2	+0
顧客件数 (千件)	24年 3月末	24年 9月末	増減
電力供給件数 (全社計)	321	314	△7

販売数量

	23年度 1-2Q実績	24年度 1-2Q実績	増減比	
電力小売 (GWh)※	965	1,111	+15%	
内訳	高圧販売※	467	593	+27%
	低圧販売※	498	518	+4%
蒸気(千トン)	171	158	△8%	
熱供給量(TJ)	826	832	+1%	

※速報値ベースでの算出、電力小売については、取次数量を含む

2. 中期経営計画の進捗状況

① 概要・全社取り組み状況

ENEX2030 経営目標 (2030年度目標)

財務指標

当期純利益

200億円
以上

実質営業キャッシュ・フロー

450億円

ROE

9.0%
以上

新規戦略投資

2,100
億円

※8年間累計 (2023~2030年度)

非財務指標

GHG排出量

50%以上
削減

(2018年度比 Scope1.2)

女性採用比率

30%
以上

女性管理職比率

10%

男性育休取得率

80%
以上

財務指標（2024年度）

当期純利益

135億円

実質営業CF

350億円

累計投資額

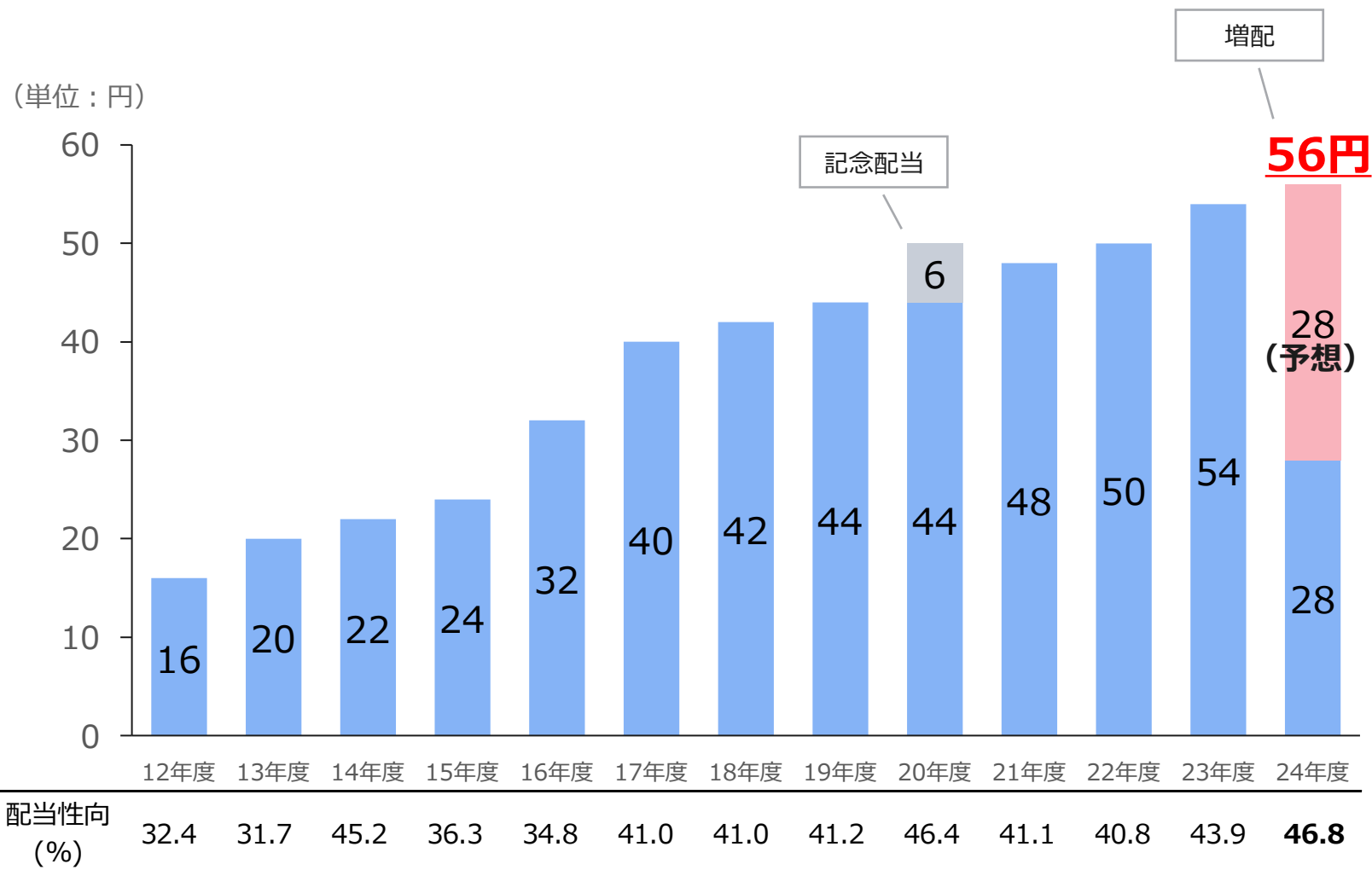
600億円

2023~2024年度累計

ROE

8~9%

2024年度 株主還元



株主還元

配当政策

累進配当

連結配当性向
40%以上を
強く意識

2024年度配当予想は
年間56円 (2円増配)

2024年度 投資計画と上期進捗

ENEX2030

くらしの原動力を創る

投資区分

新規戦略投資

- M&A関連
- モビリティ関連
- 太陽光設備
- 自社電源開発
- 研修所施設関連
- デジタルIT投資

CAPEX

- LPガス、CS関連設備更新
- 発電、熱供給設備更新
- 自動車ディーラー店舗

ENEX2030 '23-'24
(2か年累計投資計画)

新規戦略投資
440億円

CAPEX
160億円

600億円

投資回収額 (Cash In)

NET 投資額

2023年度投資実績

117億円

57億円

174億円

▲308億円

▲134億円

NET Cash In

2024年度投資計画

WECARS及び
モビリティ関連
100億円以上

新規戦略投資
収益性・戦略的意義の
高い案件を選別
200億円

CAPEX
100億円

NET Cash Out

2024年上期投資実績

WECARS投資

94億円

LNG火力発電、太陽光発電投資
ガス営業権買収、など

42億円

ディーラー店舗更新
熱供給設備更新など

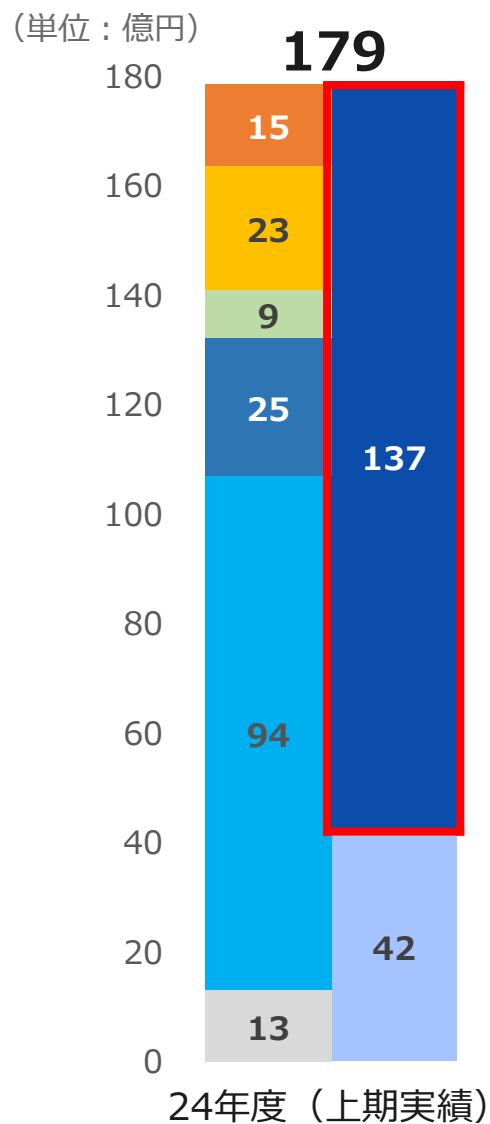
43億円

179億円

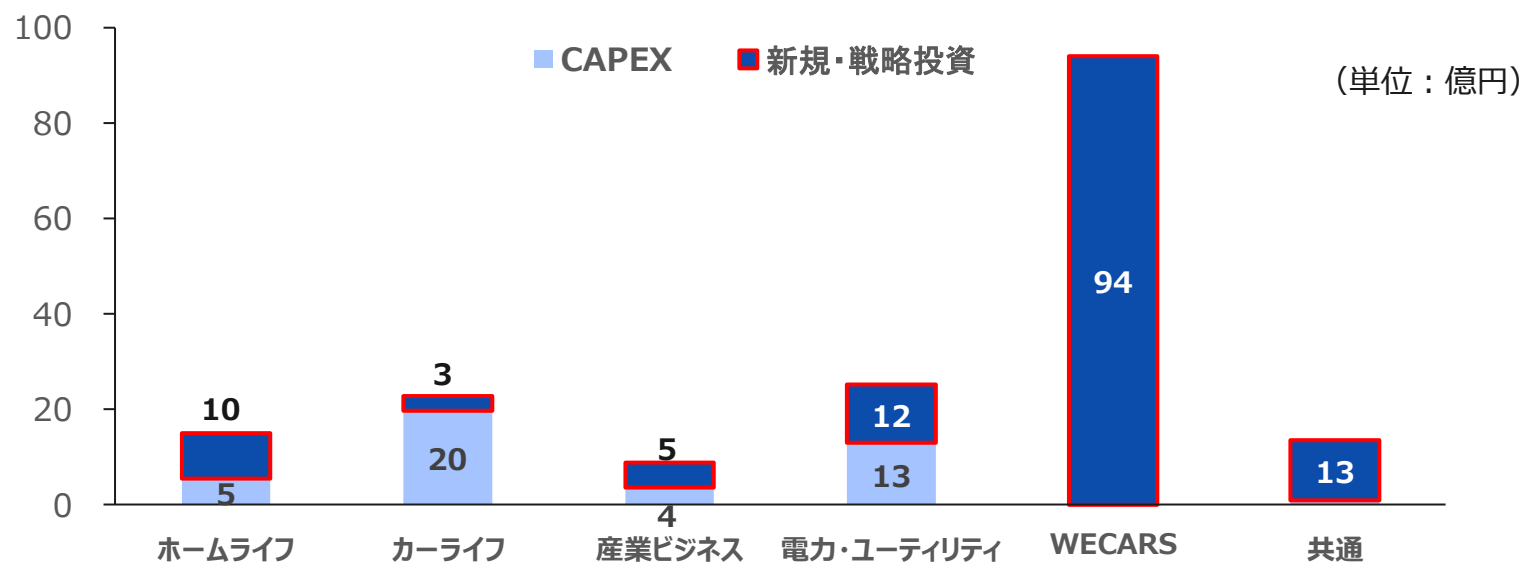
▲5億円

174億円

2024年度 上期投資実績 内訳



	主なCAPEX	主な新規戦略投資
ホームライフ	LPG設備・保安・事務所等更新工事	ガス営業権買収、LPWA投資
カーライフ	CS・自動車ディーラー店舗改修	受発注システム開発
産業ビジネス	ターミナル・高圧ガス施設改修	苛性ソーダタンク新設、産業ガス関連設備新設
電力・ユーティリティ	熱供給設備・発電設備改修	LNG火力発電増設、太陽光発電投資
WECARS	—	新会社WECARSへの資金拠出
共通	システム維持・更新	DX投資



新会社「(株)WECARS」の発足



- ・伊藤忠商事(株)、(株)ジェイ・ウィル・パートナーズと共に新会社「(株)WECARS」を発足し、旧(株)ビッグモーターの事業を会社分割により継承。
- ・中古車ビジネスの透明化を実現し、業界の信頼回復とお客様への安心感の提供を目指す。

ホームライフ連結子会社の統合を発表



- ・LPガス販売事業を主体とする当社100%子会社の4社を経営統合し、新会社「伊藤忠エネクスホームライフ(株)」に。
- ・権限委譲を進めることで現場における意思決定のスピードを加速させ、事業競争力を強化することで、LPガス業界情勢の変化に迅速に対応する。

大型商用車対応の 水素ステーションが開業



- 伊藤忠商事、日本エア・リキードとの協業により、福島県本宮市のCSに水素ステーションを併設。
- 従来の大型トラックと同様の充実したサービスを大型FC（燃料電池）トラックユーザーにも提供が可能。

「リニューアブルディーゼル」 次世代バイオ燃料が各所で採用



- 次世代バイオ燃料「リニューアブルディーゼル」で環境ラベル「エコマーク」取得。合成燃料として初の認定。
- 名古屋港を起点とするコンテナ陸上輸送や、JR西日本の岩徳線においてリニューアブルディーゼルの試験運用が開始。

AIを活用した家電別の使用状況 見える化するサービスを開始



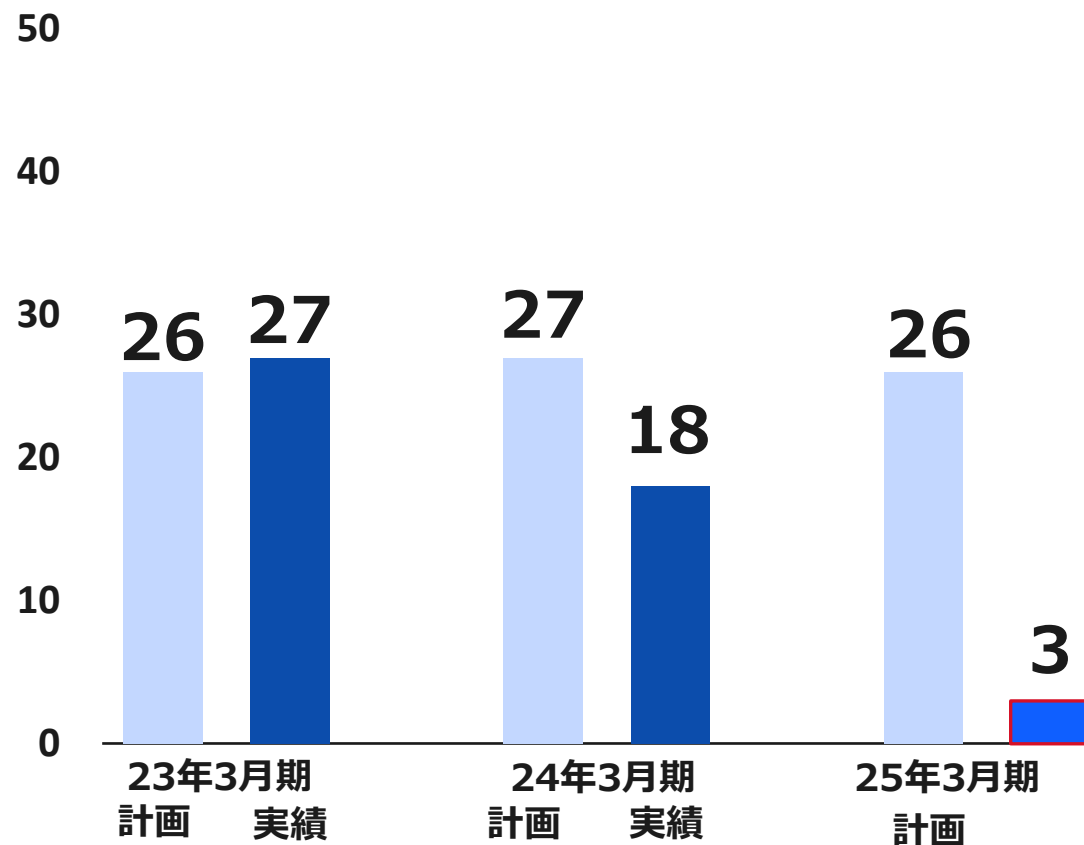
- インフォメティクス社が持つAI技術を活用し、使用機器別の電力使用状況を見える化するサービス「テラりんアイ (AI)」の提供を開始。
- エネルギーの消費パターンに応じた具体的な節電方法をご提案することで電力料金の削減や環境負荷の低減を支援。

2. 中期経営計画の進捗状況

② 各部門の進捗状況

■ 当期純利益 計画・実績

(単位：億円)



中期経営計画

注力分野の進捗

■ LPガス事業

- ・LPガス販売会社の経営統合(※)による強固な組織体制の構築
- ・LPガス顧客軒数571千軒 (前期末差△3千軒)
- ・液石法改正省令への対応を踏まえた営業強化

■ 新事業・新サービス

- ・機器住設販売強化と新サービス開発検討
- ・顧客満足度向上に向けたポイント施策刷新準備
- ・LPガス物流事業と周辺領域事業のM&A推進

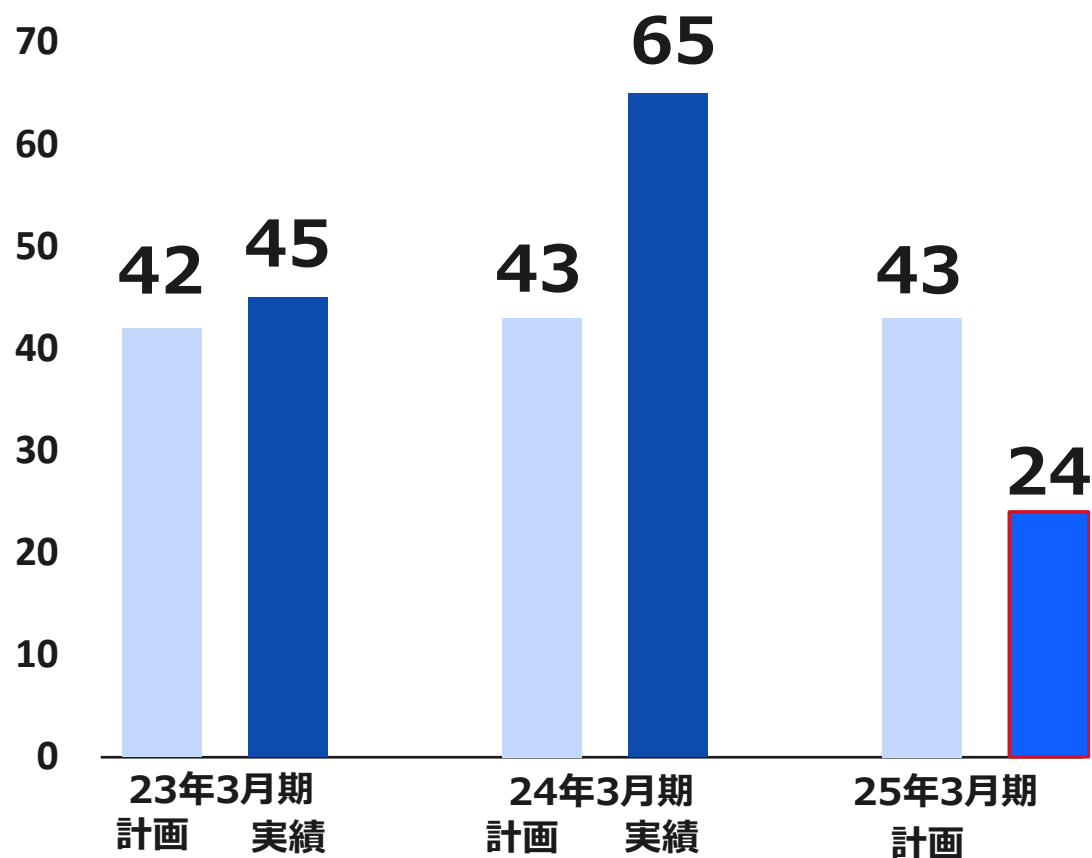
■ IT&デジタル

- ・保安監査、期限管理、教育分野のデジタル化
- ・LPWA設置拡大によるゴールド認定7社取得と保安・物流分野の合理化推進

※統合会社発足は2024年10月1日

■ 当期純利益 計画・実績

(単位：億円)



中期経営計画

注力分野の進捗

■ 石油卸事業

- ・多様な決済と共通ポイント利用促進による顧客基盤拡大
- ・車関連商材ECサイトの事業拡大推進

■ 石油小売事業

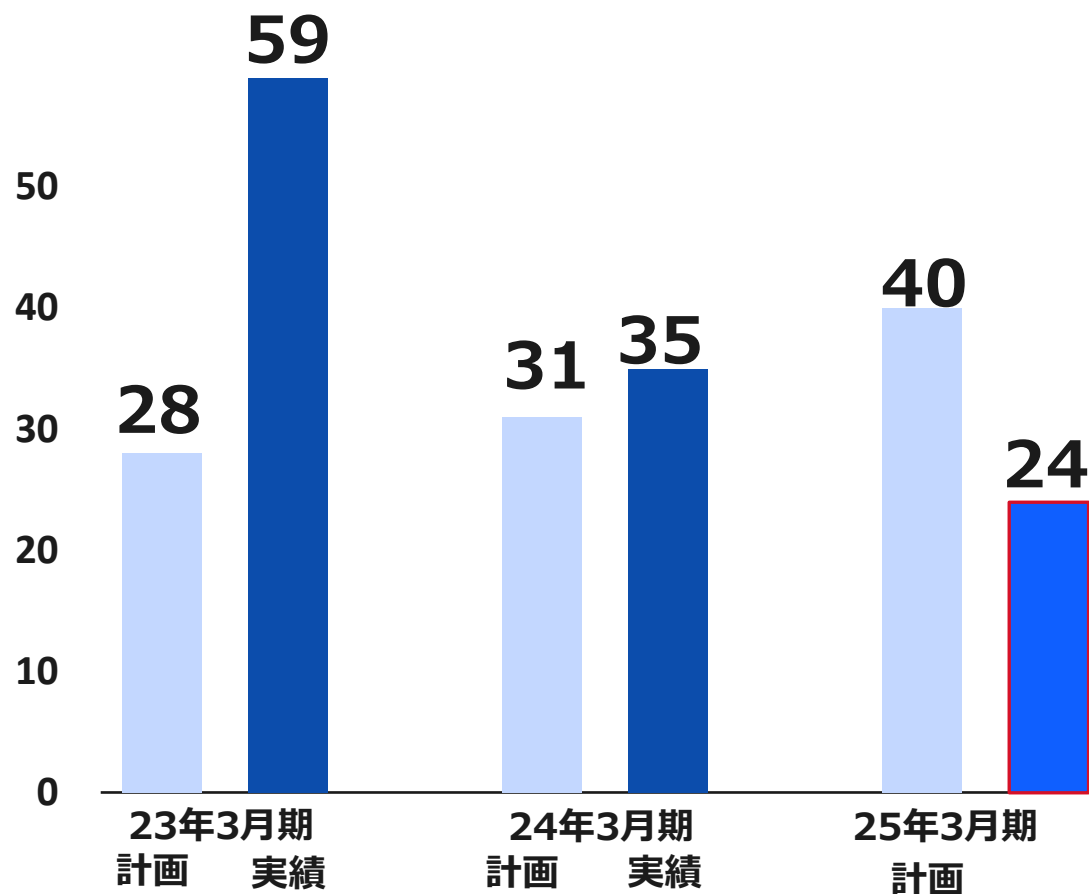
- ・フリート事業の直営拠点及び代行店の拡大
- ・各エリアに特化したサービス展開

■ モビリティ事業

- ・出品台数拡大によるオークション事業の推進
- ・車関連メンテナンス受託事業の推進

■ 当期純利益 計画・実績

(単位：億円)



中期経営計画

注力分野の進捗

■ 既存事業の更なる強化

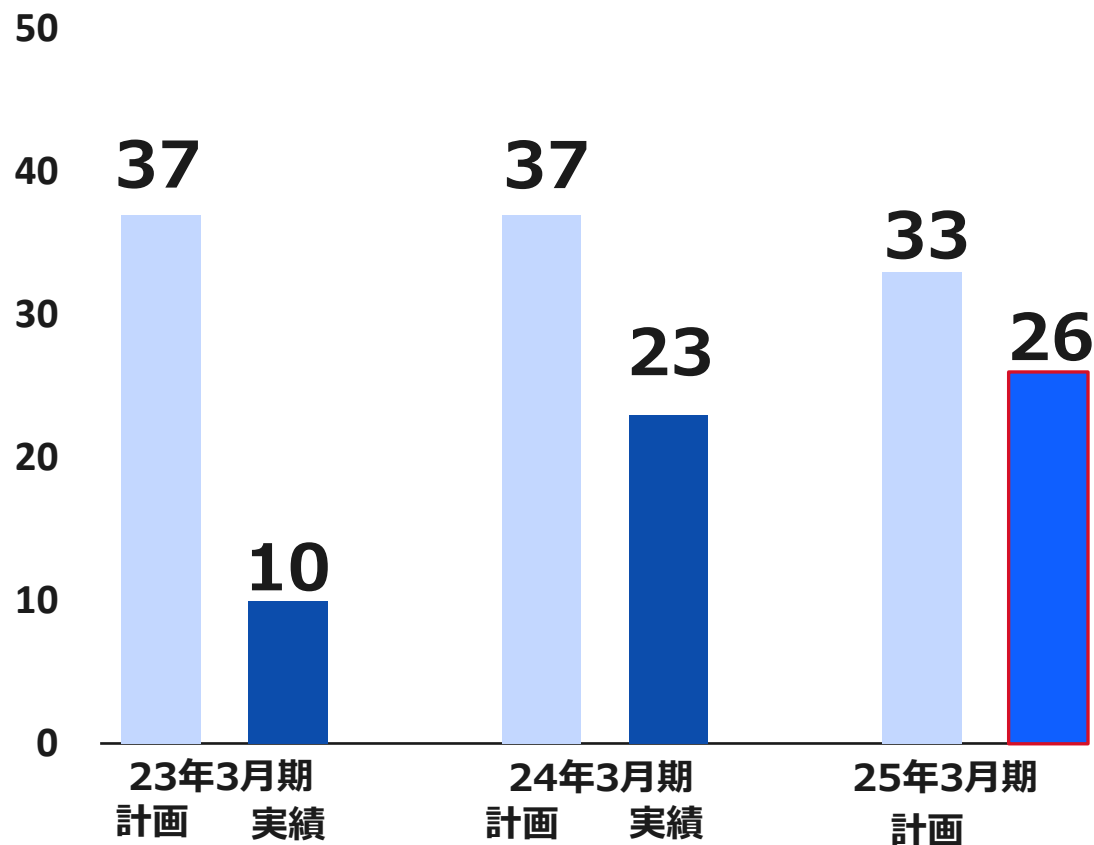
- ・改質アスファルトメーカーとの協業
- ・袖ヶ浦アスファルト基地タンク増設完工
- ・江田島ターミナルタンク増設
- ・岡山AdBlue®製造工場完工
- ・受発注システム開発(法人給油カード・船舶燃料)

■ 新規事業の開発

- ・LNGバンカリング事業の拡充
- ・リニューアブルディーゼル燃料販売の拡大
- ・エネルギーソリューション事業の推進

■ 当期純利益 計画・実績

(単位：億円)



中期経営計画

注力分野の進捗

■ 電力・DX活用による顧客基盤拡大

- ・ 電力・モビリティ顧客基盤合計670千件へ
- ・ 無人レンタカーシステム(楽のりスマート)導入店舗拡大

■ 脱炭素と経済性の両立

- ・ FIP制度を活用した、石狩市施設への風力PPA開始
- ・ 太陽光発電の余剰電力を活用した、「EV向け充放電システム」の実証実験を開始

■ 新たな付加価値サービスの提供

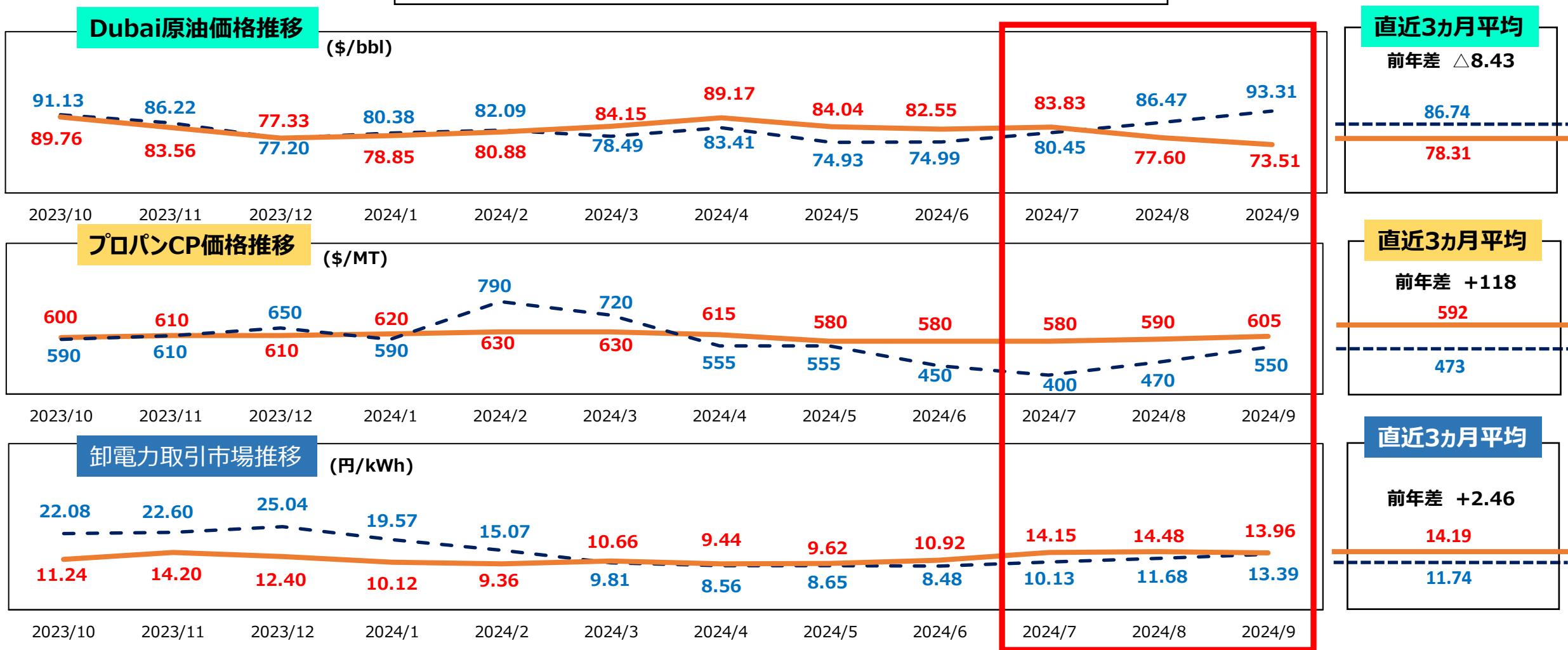
- ・ インフォメティス(株)と共同開発した電力見える化サービス「テラりんアイ(AI)」リリース
- ・ 新料金プラン(上限単価付き市場連動プラン)提供開始

Appendix

(参考) 市場動向

2024年4月以降のCP価格は横ばいで推移、直近3カ月の原油価格は下落傾向

— 直近一年 (2023.10~2024.9) - - - 前年同月

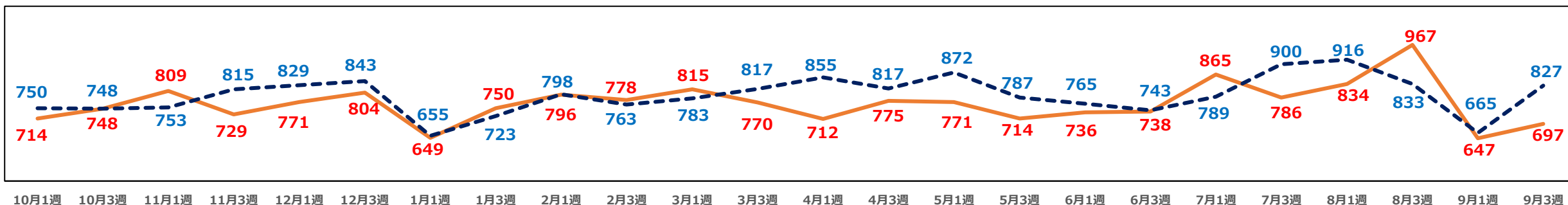


Appendix

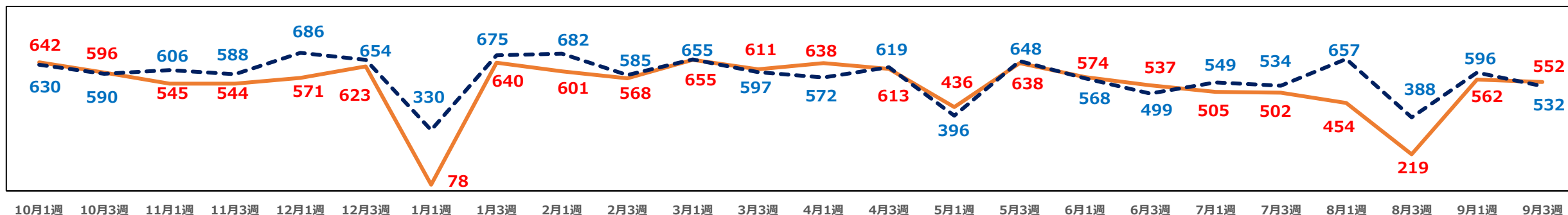
【参考】 ガソリン・軽油の国内出荷状況(全国統計)

ガソリン週間出荷量 単位(千KL)

— 直近一年 (2023.10~2024.9) - - - 前年同月



軽油週間出荷量 単位(千KL)



※ 石油連盟の統計資料を基に作成

Appendix

【参考】LPガス月別販売数量(9月～8月 全国統計)

単位(千 t)

	9月			10月			11月			12月			1月			2月		
	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減
家庭・業務用	440	393	△11%	492	471	△4%	621	595	△4%	810	778	△4%	822	756	△8%	765	743	△3%
自動車用	31	29	△6%	30	28	△8%	31	28	△10%	32	30	△8%	28	27	△2%	28	28	0%
合計	471	423	△10%	523	498	△5%	652	623	△4%	843	808	△4%	850	783	△8%	793	771	△3%

	3月			4月			5月			6月			7月			8月			合計		
	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	前年 年間	直近 年間	増減
家庭・業務用	722	727	+1%	566	616	+9%	533	515	△4%	465	437	△6%	430	444	+3%	409	364	△11%	7,075	6,839	△3%
自動車用	29	28	△3%	28	27	△2%	29	27	△8%	29	27	△6%	32	32	+0%	31	31	△2%	359	342	△5%
合計	751	755	+1%	594	644	+8%	563	542	△4%	494	464	△6%	461	476	+3%	440	395	△10%	7,434	7,182	△3%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成

Appendix

【参考】新車／月別販売台数(普通車・小型車、軽自動車)(10月～9月 全国統計)

単位(千台)

	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減
普通・ 小型車	186	215	+15%	193	225	+16%	181	201	+11%	202	193	△4%	237	203	△14%	330	269	△19%
軽自 動車	110	120	+9%	115	119	+4%	104	101	△3%	118	92	△22%	120	96	△20%	148	115	△22%
合計	296	334	+13%	308	344	+12%	284	302	+6%	320	285	△11%	356	298	△16%	478	384	△20%

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			合計		
	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	前年 年間	直近 年間	増減
普通・ 小型車	193	182	△6%	180	177	△2%	227	211	△7%	222	230	+4%	183	180	△2%	238	240	+1%	2,571	2,524	△2%
軽自 動車	96	77	△20%	92	85	△8%	105	101	△4%	99	109	+10%	97	91	△6%	126	126	+0%	1,329	1,232	△7%
合計	290	259	△11%	272	261	△4%	332	312	△6%	321	339	+6%	281	271	△3%	363	366	+1%	3,901	3,757	△4%

※ 日本自動車販売協会連合会 及び 全国軽自動車協会連合会の統計資料を基に作成

問い合わせ先

財務・IR課

担当：中村、森田

【TEL】03-4233-8025

【FAX】03-4533-0103

【E-MAIL】enex_irpr@itcenex.com